

円居

まどゐる

令和7年10月15日(水)
備前市立備前中学校
校長 藤森 韶麻
0869-64-3365

主体性について考えた —赤ちゃん登校日で考えた—



学校行事の中だ
つたり、生徒会
活動の中だと考
えます。校則改
端に短いスカート等は認めていません。

「主体性を育てる」という類いの目標を教育現場でよく見かけます。「自主性」ではなく「主体性」です。決められている係の仕事を自分からやるのは「自主性」。やるべきことを自分で決定するのが「主体性」といったところでしょ

うか。一方で、「主体性は生まれたときから全員が持っている」という話を聞きます。赤ちゃんは好奇心の塊です。興味を持つと自ら突撃していきます。開けたり、引っ張ったり、登ったり、口に入れたり・・・。その生まれながらに持っていた主体性を、大きくなるにつれて失つていつたということではなく、取り戻す場所だ、なんてことを言

う人もいます。育てるにしても取り戻すに

しても、自分で考えて自分で決めるとい

う。備前中ではそれが授業の中だつたり、

学校行事の中だつたり、

つたり、生徒会活動の中だと考

えます。校則改

定も、その自分で考えて決めるための活動の一貫として行っています。（＊）赤ちゃんを見ながら、そんなことを思い出しましたが、何はともあれ3年生の顔が、みんな優しく穏やかになっていく赤ちゃん登校日でした。活動にご協力いただいたたくさんの方々、本当にありがとうございました。

～今回参加してくださったお母さんの感想から～

来る前は、思春期の子たちがどんなふうに関わってくれるのかな?と思ったけど、みんなとても素直で赤ちゃんたちにスッとふれ合ってくれて、母も気持ちよく見守ることができました。我が家子でも赤ちゃんは思うようにいかず、イライラしたりストレスがたまつたりとかわいいだけではなくて、ニコッとしてくれるだけで、そんな感情が吹っ飛ぶくらいかわいくて愛しいです。小さい頃から中学生になつても、おじさんおばさんになつても、親は子どもがかわいくてしかたないんです。子どものために口うるさいことも言うけど、ケンカもするけど、底には愛がいっぱいだから、そこは忘れないでね。家に帰つたら、一言二言でも話しかけてくださいね。心温まる体験をありがとうございました。

（＊）最近の備前中あるある

先日、地域の方との立ち話の中で・・・。「備



練習からなんだか今ひとつ・・・。生徒会中央役員の子たちが中心になつて昼休みの練習を引っ張ろうとするのですが、どうも声が出ない。いよいよ本番が迫り、これはちよつと無理なんじゃなかつておきながら、全校合奏のそもそも目的を生徒自身に考えさせ発

信させる場を設けていなかつたことに対し、私たち教職員は大いに反省しました。子どもたちの底力にうれしさを感じるともに、「なぜ」「なんのために」・・・、うまくいきそうなときこそ大切にしないといけないと再認識しました。

練習からなんだか今ひとつ・・・。生徒会中央役員の子たちが中心になつて昼休みの練習を引っ張ろうとするのですが、どうも声が出ない。いよいよ本番が迫り、これはちよつと無理なんじゃなかつておきながら、全校合奏のそもそも目的を生徒自身に考えさせ発信させる場を設けていなかつたことに対し、私たち教職員は大いに反省しました。子どもたちの底力にうれしさを感じるともに、「なぜ」「なんのために」・・・、うまくいきそうなときこそ大切にしないといけないと再認識しました。

私は、「できそうちに選択肢もあるといふことを提案しました。しかし子どもたちは、3年生にとって最後となる合唱祭で、絶対に全校合唱を成功させたいといふこと、そのためにはまずは3年生が一

来年度に向けて —学校行事(体育会・合唱祭)を平日に—

来年度の実施を考えているところです。

理由としては、次のようことがあります。

■クラブチームの大会と重なり、どちらか一方を選択しないといけない事例が増

加。※他市の総体に出場するケースも。

詳しい日程が決まり次第、あらためて皆

様にご連絡いたします。



まり、皆で全校合唱の持つ意味を確認しました。そして4時間目、まずは3年生が下級生に向かって全校合唱に対する思いを伝えてみせました。その後は全校でパート練習。翌日からの練習は順調に進み、本番へと繋げることができました。生徒主体の生徒会活動と謳つておきながら、全校合唱のそもそも目的を生徒自身に考えさせ発信させる場を設けていなかつたことに対し、私たち教職員は大いに反省しました。子どもたちの底力にうれしさを感じるともに、「なぜ」「なんのために」・・・、うまくいきそうなときこそ大切にしないといけないと再認識しました。

—合唱祭で考えた—

昨年からスタートした全校合唱。今年は練習からなんだか今ひとつ・・・。生徒会中央役員の子たちが中心になつて昼休みの練習を引っ張ろうとするのですが、どうも声が出ない。いよいよ本番が迫り、これはちよつと無理なんじゃなかつておきながら、全校合奏のそもそも目的を生徒自身に考えさせ発信させる場を設けていなかつたことに対し、私たち教職員は大いに反省しました。子どもたちの底力にうれしさを感じるともに、「なぜ」「なんのために」・・・、うまくいきそうなときこそ大切にしないといけないと再認識しました。

まり、皆で全校合唱の持つ意味を確認しました。そして4時間目、まずは3年生が下級生に向かって全校合唱に対する思いを伝えてみせました。その後は全校でパート練習。翌日からの練習は順調に進み、本番へと繋げることができました。生徒主体の生徒会活動と謳つておきながら、全校合唱のそもそも目的を生徒自身に考えさせ発信させる場を設けていなかつたことに対し、私たち教職員は大いに反省しました。子どもたちの底力にうれしさを感じるともに、「なぜ」「なんのために」・・・、うまくいきそうなときこそ大切にしないといけないと再認識しました。

来年度に向けて —学校行事(体育会・合唱祭)を平日に—

来年度の実施を考えているところです。

理由としては、次のようことがあります。

■クラブチームの大会と重なり、どちらか一方を選択しないといけない事例が増

加。※他市の総体に出場するケースも。

詳しい日程が決まり次第、あらためて皆

様にご連絡いたします。

生徒会スローガンの新しい看板が登場!
生徒からデザインを募集し、全校生徒の投票により決定しました。